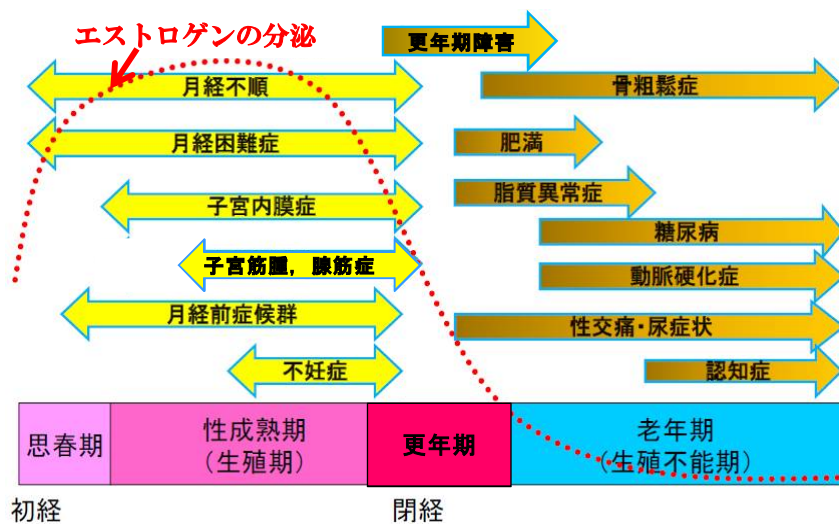


日本産婦人科医会 記者懇談会
平成26年2月12日

産みドキ、育てドキ、働きドキ

日本産婦人科医会常務理事(女性保健担当)
総合母子保健センター愛育病院 副院長
安達知子

女性のライフステージとがん以外の疾患・病態

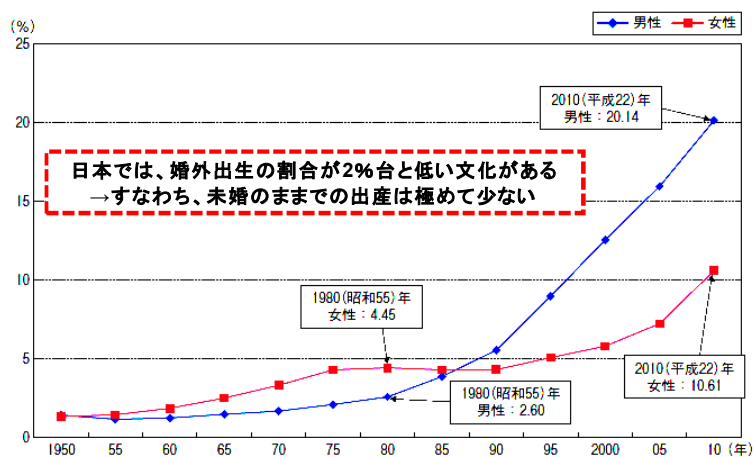


一般の若い男女に向けて、人生の中に、産みドキ、育てドキがあり、働きドキも同じ時期であること、子育てとワークは両立できることを啓発する冊子を作製した

冊子のコンセプト

- 産まない選択と産めない現実への配慮
- 妊娠適齢期の存在、併せて子育ては若い時の方が楽にできる
- 不妊治療の限界などの情報提供
- パパの出番—男女共同参画の視点、ママだけが頑張る必要なし
- 子育ての経験が実は人間力アップに！→キャリアアップを推進
- WLB(Work Life Balance)のための社会支援制度の一覧
- できれば、成人式や若い男女向けの講習会などで配布してほしい

1950～2010年までの生涯未婚率の推移



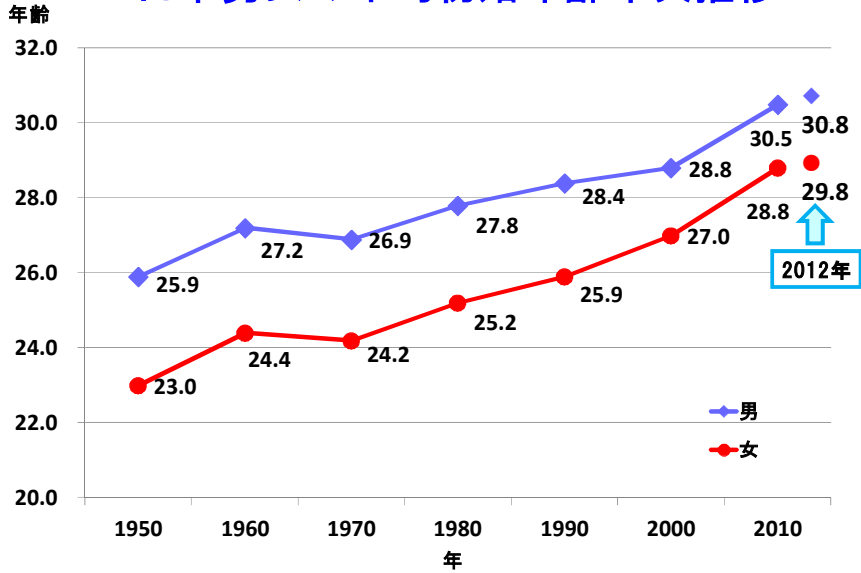
資料：国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集（2012年版）」

注：生涯未婚率は、45～49歳と50～54歳未婚率の平均値であり、50歳時の未婚率。



2030年には、男性の30%、女性の20%以上が生涯未婚と推測されている

日本男女の平均初婚年齢年次推移



国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集：2012年版より

妻の平均初婚年齢・母の出生時平均年齢・出生までの平均期間 — 昭和50～平成24年 —

年次	妻の平均初婚年齢(歳)	母の出生時平均年齢(歳)			結婚生活に入ってから出生までの平均期間(年)		
		第1子	第2子	第3子	第1子	第2子	第3子
昭和50年	24.7	25.7	28.0	30.3	1.6	4.1	6.7
昭和55年	25.2	26.4	28.7	30.6	1.6	4.3	6.8
昭和60年	25.5	26.7	29.1	31.4	1.6	4.2	7.0
昭和61年	25.6	26.8	29.2	31.4	1.6	4.2	6.9
昭和62年	25.7	26.8	29.2	31.5	1.6	4.3	6.9
昭和63年	25.8	26.9	29.3	31.6	1.7	4.3	6.9
平成元年	25.8	27.0	29.4	31.7	1.7	4.3	10.0
平成2年	25.9	27.0	29.5	31.8	1.7	4.3	10.0
平成3年	25.9	27.1	29.5	31.8	1.7	4.3	7.0
平成4年	26.0	27.1	29.6	31.9	1.7	4.3	7.0
平成5年	26.1	27.2	29.6	32.0	1.7	4.3	7.0
平成6年	26.1	27.4	29.7	32.0	1.8	4.3	7.0
平成7年	26.3	27.5	29.8	32.0	1.8	4.3	6.9
平成8年	26.4	27.6	29.9	32.0	1.8	4.4	6.9
平成9年	26.6	27.7	30.0	32.1	1.9	4.4	6.9
平成10年	26.7	27.8	30.1	32.1	1.9	4.5	6.9
平成11年	26.8	27.9	30.2	32.2	1.9	4.5	6.9
平成12年	27.0	28.0	30.4	32.3	1.9	4.5	6.9
平成13年	27.2	28.2	30.4	32.4	1.9	4.5	6.9
平成14年	27.4	28.3	30.6	32.5	1.9	4.6	6.8
平成15年	27.6	28.6	30.7	32.5	2.0	4.6	6.8
平成16年	27.8	28.9	30.9	32.6	2.1	4.6	6.8
平成17年	28.0	29.1	31.0	32.6	2.1	4.7	6.7
平成18年	28.2	29.2	31.2	32.8	2.1	4.7	6.8
平成19年	28.3	29.4	31.4	32.9	2.1	4.8	6.9
平成20年	28.5	29.5	31.6	33.0	2.2	4.8	6.9
平成21年	28.6	29.7	31.7	33.1	2.2	4.8	6.9
平成22年	28.8	29.9	31.8	33.2	2.2	-	-
平成23年	29.0	30.1	32.0	33.2	2.3	-	-
平成24年	29.2	30.3	32.1	33.3	2.3	-	-

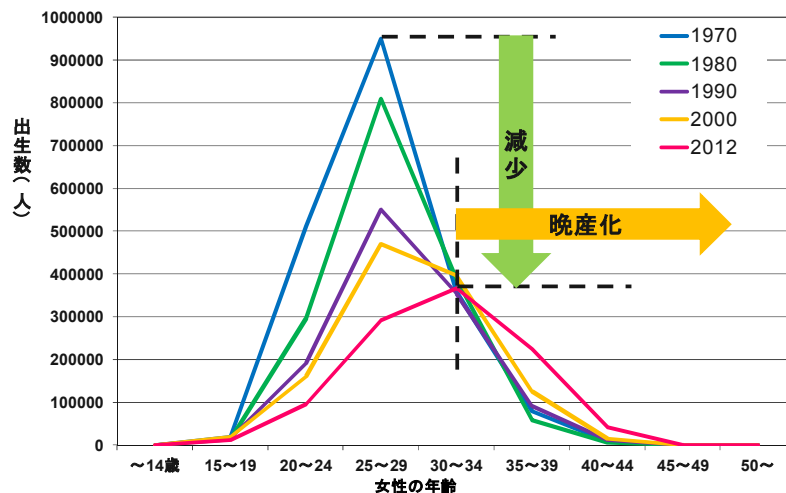
厚生労働省
人口動態調査より

母の年齢別 出生数の年次推移

厚生労働省人口動態統計

母の年齢	1975	1985	1995	2005	2010	2012
総数	1 901 440	1 431 577	1 187 064	1 062 530	1 071 304	1 037 231
～14歳	9	23	37	42	51	59
15～19	15 990	17 854	16 075	16 531	13 495	12 711
20～24	479 041	247 341	193 514	128 135	110 956	95 805
25～29	1 014 624	682 885	492 714	339 328	306 910	292 464
30～34	320 060	381 466	371 773	404 700	384 385	367 715
35～39	62 663	93 501	100 053	153 440	220 101	225 480
40～44	8 727	8 224	12 472	19 750	34 609	42 031
45～49	312	244	414	564	778	928
50歳以上 (不詳も含む)	(14)	(39)	(12)	34(40)	19(24)	32(38)

出生数と出産時期の変遷



40年前に比較して出産数自体も減少しているが、晩婚化にともなう晩産化が特徴的である。

厚生労働省人口動態調査より

小冊子

オンナとオトコの

「産みドキ 育てドキ 働きドキ」

企画監修：公益社団法人日本産婦人科医会

テーマ

未来をつくる 少子化対策と男女共同参画社会

対象

20代の男女

「産みドキ」
「育てドキ」
「働きドキ」
の
三部構成



産みドキの巻

「いつにしようか」



「ネー、
赤ちゃん、いつにする」

内容

産みドキ

◎妊娠適齢期

◎卵子の老化

◎産みドキとライフプラン

◎私らしい選択の大切さ

女性性器

◆仮若してね。オナナの産むしくみ
子どもを産んで育てるようできているのが、オナナのからだ。
女性性器は妊娠・出産のために、オッパイは母乳のためあってことを思い出してね。人間も動物の仲間なので、これは大事なポイントよ。

男性性器

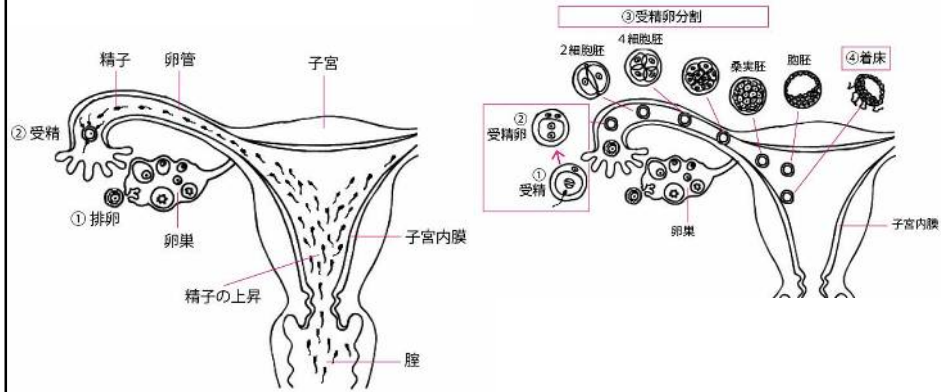
◆仮若してね。オトコの産むしくみ
オトコがないと子どもはできない。精子をつくって、卵子に求婚するのが、オトコの役目。そのためにあるのが、男性性器よ。

産みドキ

受精のしくみ

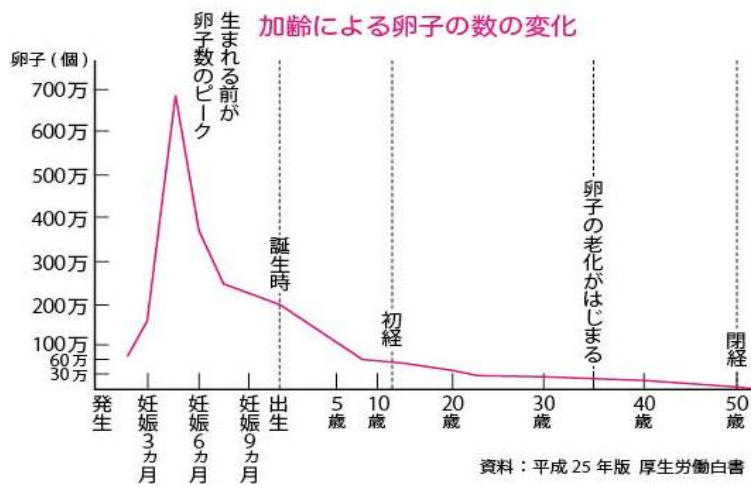
着床のしくみ

産みドキ



卵子の老化

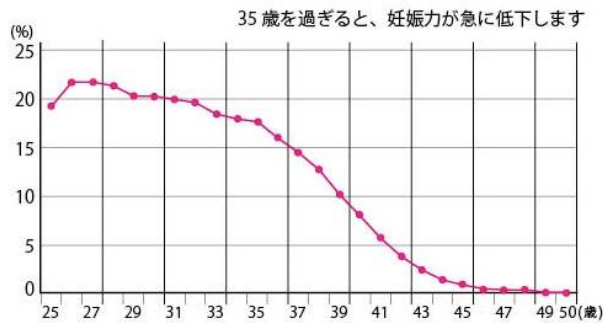
産みドキ



加齢による妊娠力の低下

産みドキ

年齢と共に下がる体外受精 (ART)1 回あたりの出産率



(日本産科婦人科学会「2011年ARTデータブック」より)

こんなことも...

産みドキ

- ◎ 卵子と精子のちがいを理解させる
- ◎ 正常月経チェック表で
女性の健康リズムへの理解を促す
- ◎ 産まない選択+産めない現実への配慮
- ◎ 不妊治療の限界について、情報提供

育てドキの巻



内容

育てドキ

- ◎ 簡単な妊娠・出産のプロセス
- ◎ 育児は体力 + 耐力という現実
- ◎ 妊娠適齢期のメリット
(例: 子育てが楽)
- ◎ イクメンパパになろう

ママのからだの変化と陣痛

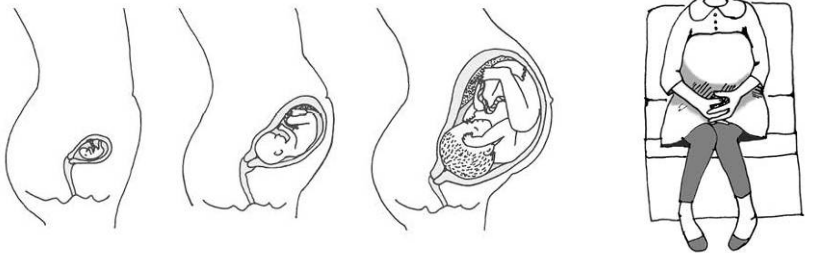
育てドキ

胎児の成長とママの体の変化

妊娠 3ヵ月
8~11週

妊娠 6ヵ月
20~23週

妊娠 10ヵ月
36~39週



うれしいイクメンパパ

育てドキ



働きドキの巻



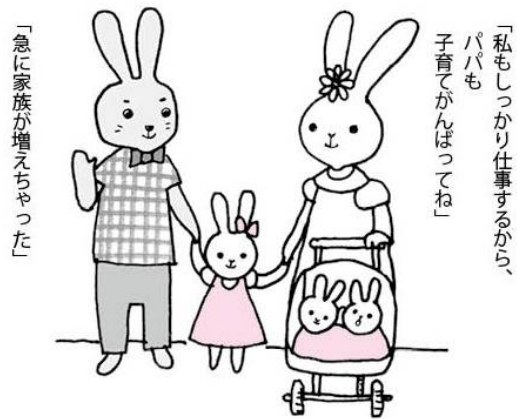
内容

働きドキ

- ◎産みドキ、育てドキは働きドキ
- ◎ワーク・ライフ・バランスを大切に
- ◎子どもを産み育てるのは
未来をつくること
- ◎男女共同参画社会に向けて

ラストのワンシーン

働き下キ



妊娠・出産・育児を支援する制度

男女共同参画社会とは

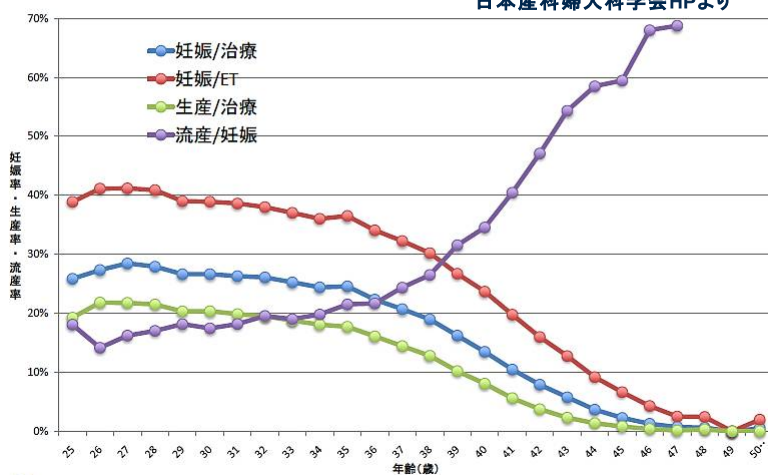


公益社団法人 日本産婦人科医会

公益社団法人 日本産婦人科医会は、思春期、性成熟期、更年期、老年期にわたって、女性の一生の健康を支援し、より良い医療の提供を目的とする、産婦人科医の全国組織です。

ART妊娠率・生産率・流産率 2011

日本産科婦人科学会HPより



体外受精によっても35歳以上で妊娠率は急激に低下するが、加齢とともに流産率は高くなる。43歳以上になると過半数は流産し、子供が生まれるのはわずか2.3%である

**-最近の晩産の現状から-
なぜ、女性たちは出産を先送りにしてきたのか？**

- いくつになっても出産は可能だと思い違いしていた
- キャリアをある程度積んで、生活設計ができてから出産を考えようと思っていた
- 30歳前後に出産・子育てしながらキャリアを積む自信がなかった

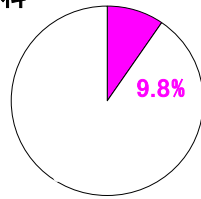


比較的若い時期に妊娠出産しても、キャリアを積むことができるという就業モデルが身近になかった

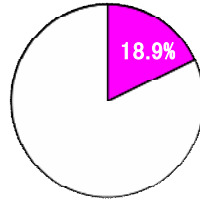
働く女性の支援を考えるに当たり、適切な就業モデルがあるとわかりやすい。医師、とくに産婦人科では短期間に急激に女性医師が増加したことから、産婦人科医をモデルとして、国や自治体でWLB支援のための研究も活発におこなわれている

女性医師の割合

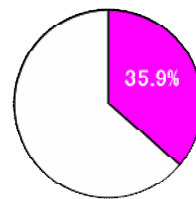
全診療科



1978年

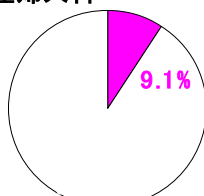


2010年

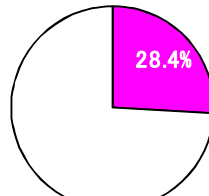


2010年 20歳代

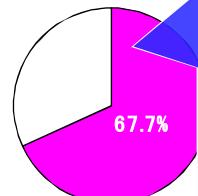
産科・産婦人科



1978年



2010年



2010年 20歳代

20代の若手女性医師は増加しているが、その傾向は産婦人科で著明。女性医師が継続就労するための対策は急務

厚生労働省医師・歯科医師・薬剤師調査 より

皆さん、202030という言葉を知ってますよね？

「内閣府の男女共同参画推進連携会議企画委員会」
が提唱した言葉

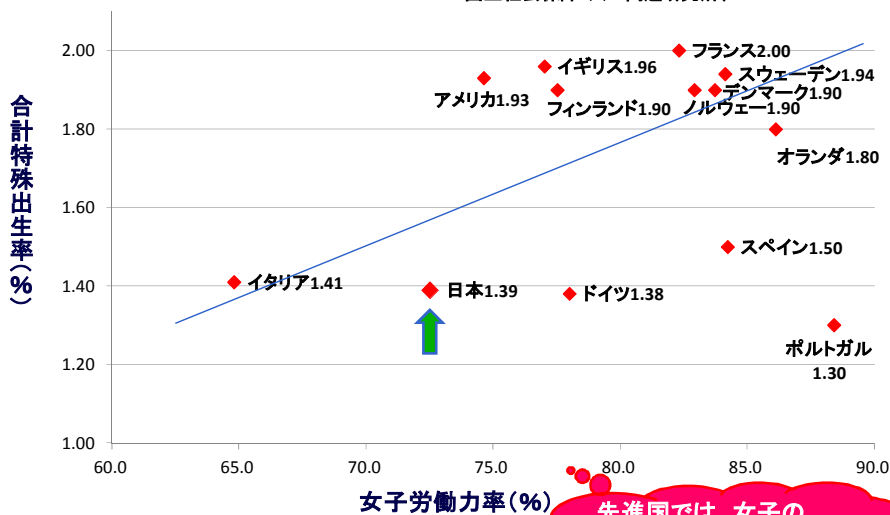
多様性に富んだ活力ある社会の実現のためには、
社会における女性の参画が重要であり、

「2020年までに、あらゆる分野の指導的地位に女性が占める割合を30%にしよう」という国の目標のこと。

でも、若いときに出産したら、
ワークの継続やキャリア
形成はできるのかしら？

先進国における女子労働力率(25-34歳)と出生率 (TFR)

国立社会保障・人口問題研究所、ILO (2011年)



労働力率: 15歳以上の人口に占める実労働人口の比(%)
2011年 全体59.3, 男性71.3, 女性48.2

先進国では、女子の労働力率の高い国は出生率も高い

この課題のためには

若い時から安心して無理なく仕事と子育てを両立できる WLBを考えた環境やシステムを作ることが必要



対策のためのキーワード

- 自身のキャリア継続への高いモチベーション
- 夫の意識、職場や社会の意識改革
- 家庭、職場、自治体や国の支援

妊娠・出産・育児中の

女性医師が 働きやすい職場づくり

周りのスタッフもいきいきと働きやすく



子育て中の女性医師に
やさしい職場は
勤務するまでの人が
働きやすい職場です

日本産婦人科医会HP: 資料集
http://www.jaog.or.jp/all/document/jyoseiDR_2008.pdf

平成20年度厚労科研

「病院勤務医などの勤務環
境改善に関する緊急研究」
の分担研究

「女性医師就労支援事例の
収集・検討」

(分担研究者 安達知子)

この冊子は、今後女性医師
支援システムを立ち上げよう
とする病院、現在の支援策を
発展させたい病院を対象に
作成され、そこで勤務する全
ての人が現時点での働き方
を見直し、充実した勤務環境
となるような提言を盛り込み
ました。

女性医師活躍推進のための 女性医師のキャリア・デザイン

～働き続けるために、自分が、社会ができること～

周囲のサポートと
女性医師のモチベーションが
明日の医療を支えます

医学会学術集会
特別講演 教授



平成22年度厚労科研

「女性医師離職防止の
ための勤務支援

好事例の収集と検討」
(主任研究者 安達知子)

若い時から、生涯のキャリア・
デザインについて考えてもらう
ために、ワークとライフの年表
と数々の就労支援、本人の
モチベーションを上げるための
提言を盛り込んだ冊子を作成

日本産婦人科医会HP: 資料集
http://www.jaog.or.jp/all/document/jyoseiDR_2010.pdf

ワンポイントアドバイス

先輩の声

キャリアとともに必要とされる能力は、一見つまらなくみえるようなものも含めた様々な経験を通して育っていきます。

- ・職場の各種委員会や雑務、学会・医会の活動
- ・子育てを通して磨かれる能力: 傾聴、観察、忍耐、受容、責任、意図しないことへの対応、緩急をつけたリズム
- ・育児を通じての地域活動等でえられる対人関係のスキル、コミュニケーション、思考、洞察、発言、行動力など、

これらはすべて貴重な経験の機会です。面倒な事にとらえず、積極的に機会を活用して、マネジメント力に繋がる能力、人間力を向上させてください。

すべての経験はキャリア形成に必要な能力へつながります。

- その他、妊孕性を温存するように、健康意識を持って、禁煙、性感染症予防、婦人科検診、がん検診を定期的に行う。
- 一方で、子供のいる人生を望むのならば、体力、良好な体調、十分に妊孕性のある年齢で妊娠・出産する。



ライフステージとキャリア形成に対する
行動プランを考える

高年出産(を否定するわけではないが)、その子育てライフとは？

- 自身も成熟してきているので、子供の成長に対して精神的にも経済的にも余裕がある
- 一方で、子育てには多大なエネルギーが必要で、体力的に困難なことがある
- 祖父母が高齢で、サポートが得られにくい
- ケースによっては平行して親の介護が必要
- 45歳で出産したら、子が大学を卒業する前に定年
- より責任のあるポストに就いている場合は、
仕事と子育ての両立、産休・育休取得も困難？
→逆に、キャリア形成をあきらめる可能性もあり！

結婚したい時が結婚のタイミング、
産みたい時が、産みドキだけど・・・
もう少し後で・・・と先送りしていると、
結婚は、いつでもできるけど・・・
子供のいる人生を選択するのなら
妊娠には適齢期が……………！！